

2001年9月26日

各 位

株式会社小糸製作所

### A F S 搭載試験車公道走行のための認定取得

株式会社小糸製作所（本社：港区高輪、社長：加藤順介）では、A F S（Adaptive Front Lighting System；先進前方照明システム）を搭載した試験車両の認定申請をしておりましたが、国土交通大臣から9月26日に認定が取得できましたので、お知らせいたします。自動車部品メーカーによるA S V試験車両の認定取得は**日本では初めての**ことであります。

当社は、国土交通省が1990年より推進しておりますA S V（Advanced Safety Vehicle；先進安全自動車）プロジェクトにカーメーカーを通じて参画しておりますが、そこで培った技術を基にA F Sの技術開発を進め、今回初めて公道での試験を申請したものであります。

A F Sとは、走行環境（道路形状・天候・走行速度等）に応じてヘッドランプの配光を最適に制御するもので、夜間や悪天候時などの走行時により良い照明を提供し、より安全で快適な運転を可能とした画期的な前照灯システムです。

A F Sは、欧州の政府と企業、研究機関が共同で進める通信技術、環境技術、輸送技術等の先端技術分野についての国際共同研究構想に基づいて行われる研究プロジェクト（ユーレカプロジェクト）の一つであります。A F Sプロジェクトの目的は、夜間の自動車走行の安全性をより高めるために、対向車・先行車の状況、市街地、高速道路等の道路環境、さらには雨・霧等の天候に応じて自動的に前方への光をコントロールする前方照明システムの開発、およびその法規化に有ります。小糸製作所は、このプロジェクトに、1999年に**欧州域外からは初めて**正式メンバーとして承認され、開発を進めてきました。

今回認定を取得しました試験車両にはA・B 2種類の仕様があり、Aタイプは、プロジェクタ型すれ違いビーム（ロービーム）のユニット全体を水平回転して照射方向を変化させ、主に高速域でのカーブにおける視認性を向上させます。Bタイプは、通常のすれ違いビーム（ロービーム）に加えて、水平回転可能なすれ違いビームをもう1灯追加して照射範囲を広げるもので、主に中低速域でのカーブ及び交差点における視認性向上等を狙うものです。

今回、認定を受けたA F S試験車両にて公道を走り、効果を確認し、実用に適した、完成度の高い製品を造り、より安全で快適なクルマ社会の実現に貢献していきたいと考えております。

#### 記

認 定 日 : 2001年9月26日（水）  
認定取得内容 : A F S（Adaptive Front Lighting System）搭載試験車両  
目 的 : A F Sに関する公道での試験データ蓄積

\* 本件問い合わせ先：総務部 鶴田、糸川 03 - 3443 - 7113

以 上

【構造・装置の概要】

今回の試験車両においては、ステアリング（ハンドル）の動作とスピードに連動して、ヘッドランプの照射範囲を変化させ（右にハンドルを回せば 照射範囲も右寄りに、逆も同様）ドライバーに見やすい、心地よい前方視認性を提供するものです。

本車両にはA、B 2種類の前照灯を搭載できるようになっています。

A仕様（図1）：プロジェクタ型のすれ違い前照灯（ロービーム）ユニット全体を水平回転して照射範囲を変化させるものです。  
主に高速域でのカーブにおける視認性向上等を狙うものです。（図3）

B仕様（図2）：通常のスレ違い前照灯（ロービーム）に加えて、水平回転可能なすれ違い前照灯をもう1灯追加して照射範囲を変化させるものです。  
主に中低速域でのカーブ及び交差点における視認性向上等を狙うものです。（図4）

A仕様AFS  
ハイビーム

すれ違い用前照灯（全体可動式）

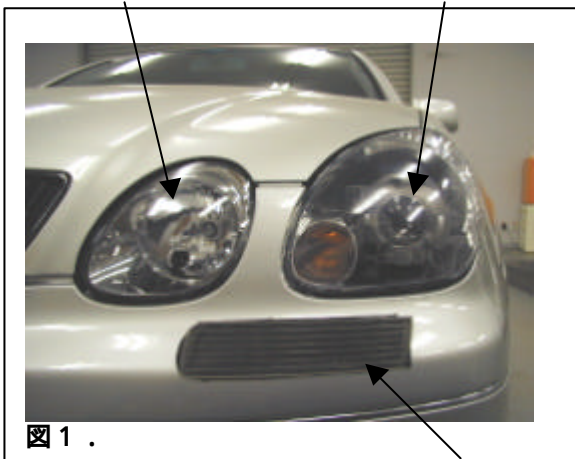


図1.

B仕様AFS

ハイビーム

すれ違い用前照灯

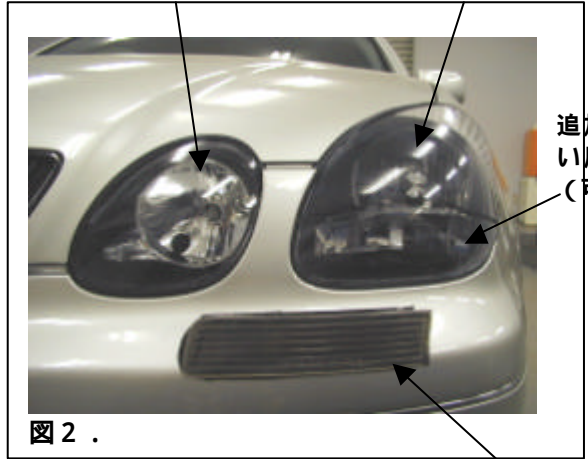


図2.

方向指示器兼  
非常点滅表示灯

方向指示器兼  
非常点滅表示灯

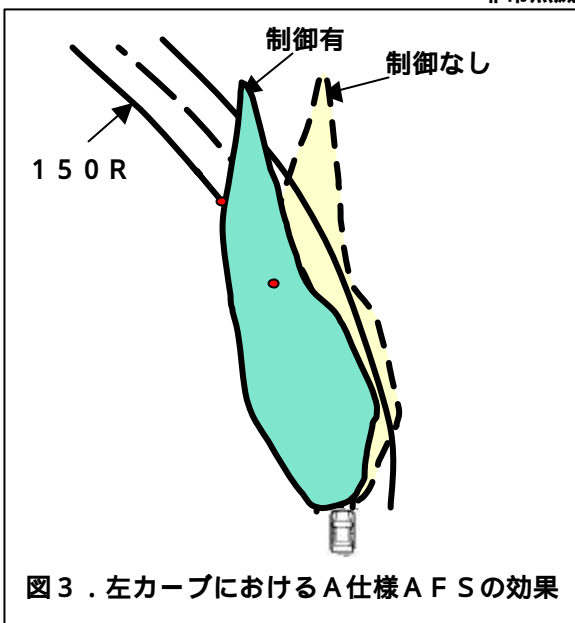


図3. 左カーブにおけるA仕様AFSの効果

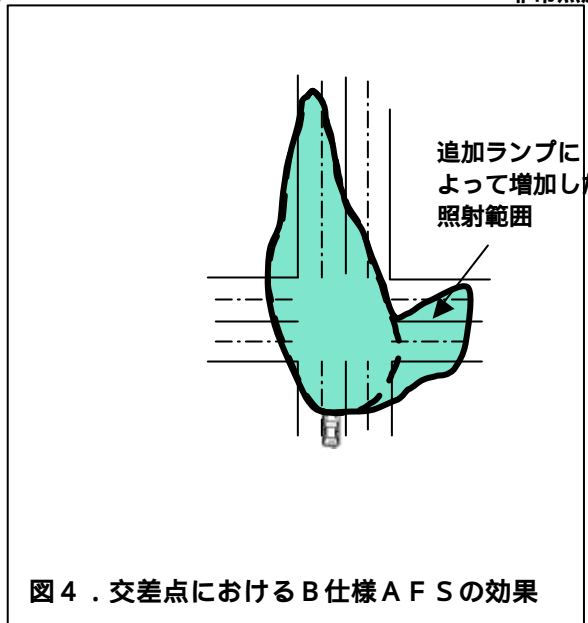


図4. 交差点におけるB仕様AFSの効果